

「木目込人形ヌウ」が誕生するまで

2010年頃、当時のロッテ浦和工場長様より、チョコレートを作るときに出る副産品である「カカオシェル」を何かに使えないだろうか、というお声がさいたま市に寄せられ、同市が当組合に繋げていただきました。

さいたま市より、市の伝統産業「岩槻の人形」の木目込人形で、カカオシェルを使ったさいたま市 PR キャラクター「ヌウ」を作ってはどうか、とお声かけをいただき、組合として制作に取り組むこととなりました。

(ロッテ様との連携を記念して木目込人形の「カカオくん、カカオちゃん」を制作し、浦和工場様にお届けしました。※写真1)

木目込のヌウは著作権の関係でデザインに忠実でなければならず、何回も原型の段階で修正が入りました。素材もカカオシェルを混ぜると造形が難しく、桐粉との配合割合を変えて試作を繰り返し、角と鼻の部分に使うことでようやく完成したものを、ロッテ浦和工場様へお納めしました。

完成した「木目込人形ヌウ」を、さいたま市と共にロッテ浦和工場様にお届けしたところ大変喜んでいただき、木目込人形ヌウの原型をチョコレート用に複製した釜にチョコレートを流し込んで作ったチョコレートヌウを市及び組合にいただきました。※写真2

そうして当時制作した「木目込人形ヌウ」は、さいたま市の記念品として連綿と使っていただけてまいりました。

今日まで、組合として一般の皆さまには販売してまいりませんでした。このたび販売体制を整え、岩槻の伝統産業である木目込人形として、カカオシェルを含まない「木目込人形ヌウ」の販売が可能になりました。折しも辰年を迎え、さいたま市のキャラクター「ヌウ」をさいたま市の伝統工芸「岩槻の人形」で製作した同商品を、ひとりでも多くの方に手に取っていただきたく、材料価格高騰の折ですが価格を抑えて販売いたします。

※1 木目込人形「カカオくんとカカオちゃん」

岩槻人形協同組合組合員 石川佳正のデザイン画と完成品の写真
桐粉に正麩のりを混ぜて造った土台にカカオシェルを約1cm覆い、そのボディに裂地を木目込んでいます。



※2 チョコレートヌウ

「木目込人形ヌウ」を制作した折の原型を基に、チョコレート用に製作した原型をロット様にお渡しし、ロット様がチョコレート用の抜き釜を作って抜いたものをいただきました。



さいたま市限定「木目込人形ヌウ」オリジナル版

